CORONA

正しく使って上手に節約

コロナ石油ファンヒーター
（強制通気形開放式石油ストーブ）

取扱説明書

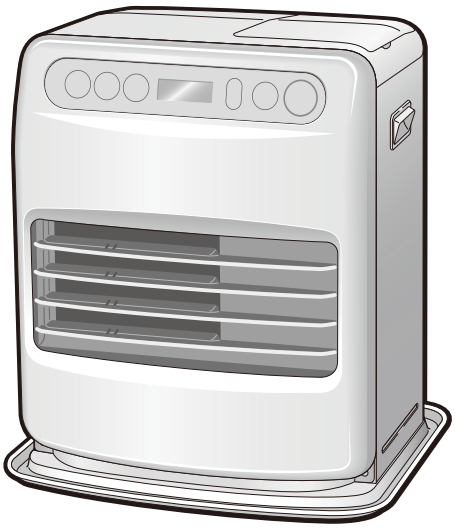
〈保証書付〉保証書は裏表紙に印刷されています。

ご注意

標高500～1,500mでの使用は、調整（高地切換）が必要です。

標高の高い場所での使用は、酸素不足により黄火燃焼（赤火）となり故障の原因になりますので高地切換をしてください。
（9ページ参照）

型式 FH-G32YA6（エフ エイチ ジー ワイ エイ）



このたびは、コロナ石油ファンヒーターをお買いあげいただき、まことにありがとうございました。
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
なお、お読みになった後もお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

この製品は日本国内専用です。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed and manufactured for use only in Japan. In another country which differs in voltage and frequency of the power supply from Japan, this product cannot be used and any after-sales service is not available.

もくじ

使用前に

ページ

1 特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください） ― 1～4
＊灯油の廃棄について ― 4
2 使用する場所 ― 4
3 各部のなまえ
●外観図・構造図 ― 5
●操作部・表示部のなまえとはたらき ― 5
●表示部 ― 6
4 使用前の準備
●使用前の準備 ― 7
●使用燃料 ― 7
●給油 ― 8～9
●点火前の準備と確認 ― 9
●高地切換 ― 9

使用方法

5 使用方法
●点火 ― 10
●消火 ― 10
●室温の調節 ― 10
●セーブモード ― 11
●現在時刻の合わせかた ― 11
●秒速点火 ― 11
●秒速タイマー ― 11
●入タイマー運転 ― 12
●切タイマー運転 ― 12
●チャイルドロック ― 12
●お知らせ消音モード ― 13

点検・その他

6 日常の点検・手入れ ― 13～14
7 故障・異常の見分けかたと処置方法 ― 15～16
8 部品交換のしかた ― 16
9 保管（長期間使用しない場合）・廃棄のしかた ― 17
10 仕様 ― 17
11 アフターサービス ― 17
12 定期点検 ― 18
13 設計上の標準使用期間 ― 18
14 お客様ご相談窓口 ― 18
■ 保証書 ― 裏表紙

株式会社コロナ

1 特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください)

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性または火災の可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本文中のマークは、次の意味を表します。

	このマークは、してはいけない「禁止」を表しています。
	このマークは、必ず実行していただく「指示」を表しています。
	このマークは、「注意」を表しています。

⚠危険 (DANGER)

ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。

ガソリン使用禁止

⚠警告 (WARNING)

スプレー缶厳禁

禁止

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを温風のあたるところに放置しないでください。
熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発し、危険です。

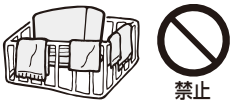
●特に、ボンベがセットされたカセットコンロなど危険ですので、温風のあたるところには置かないでください。

温風吹出口・空気取入口をふさがない

●衣類、紙などで温風吹出口や空気取入口をふさがないでください。衣類、紙などでふさぐと、異常燃焼や火災の原因になります。

禁止

●ストーブガードなどの囲いに干し物を掛けたり、衣類・紙などで温風吹出口や空気取入口をふさいだ場合や、カーテンなどで背面の温風空気取入口がふさがれると、本体が過熱して、操作部などが変形したりやけどや故障・破損するなど大変危険です。



禁止

禁止

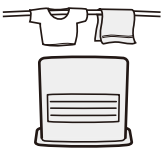
寝るとき消火

寝るときや外出するときは、必ず消火してください。また、人目の届かないところでは、使用しないでください。
不完全燃焼や異常燃焼・火災のおそれがあります。

必ず守る

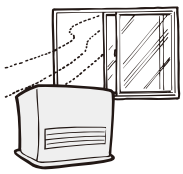
衣類の乾燥厳禁

衣類などの乾燥には使用しないでください。
異常燃焼や火災の原因になります。



衣類乾燥厳禁

換気必要



換気必要

換気せずに使用しつづけないでください。
酸素が不足すると、不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生して中毒になるおそれがあります。また、乳幼児や呼吸器疾患などの方は、体調不良になるおそれがあります。
使用中は必ず1時間に1～2回（1～2分）換気して、新鮮な空気を補給してください。換気するときは、換気扇を使用したり、窓や戸などを2ヵ所以上開けると効率よく換気ができます。換気が十分におこなえない場所（窓が凍結している部屋、地下室など）では使用しないでください。

可燃性ガス使用厳禁

禁止

ファンヒーターを使用している部屋で、可燃性ガスが発生するもの（ベンジン、シンナー、ガソリン）、スプレーなどを使用しないでください。
火災や故障の原因になります。

さびた給油タンクの使用禁止

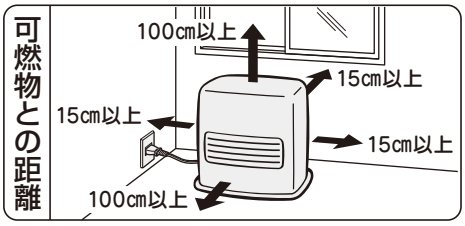
禁止

使用方法や保管状態が悪く、給油口や給油タンクにさびが発生した場合は使用しないでください。
給油口が確実に閉まらず、灯油が漏れて火災の原因になります。

⚠警告(WARNING)

可燃物近接厳禁

カーテン・布団や毛布など燃えやすい物のそば、ほこりの多い場所などでは使用しないでください。
火災が発生するおそれがあります。
可燃物とは図に示す距離を確保してください。



改造使用の禁止

改造して使用しないでください。
安全装置の無効化など機器の安全性を損なう改造は、火災など思わぬ事故の原因になります。

外付け装置による遠隔操作厳禁

スマートフォン、IT機器を使ってファンヒーターの運転を操作する外付け装置※は安全性を確認できないため、使用しないでください。

※操作部付近に設置し、インターネット通信などで操作キーを押すことのできる装置

⚠注意(CAUTION)

異常・故障時使用禁止

油漏れや臭い、すすの発生、炎の色、エラーを繰り返すなど異常や故障と思われるときは使用しないでください。事故の原因となります。
「故障・異常の見分けかたと処置方法」(☞15～16ページ)に従って処置してください。

●緊急時は電源プラグを抜いて消火してください。

指や異物を入れない

温風吹出口やファンヒーターの内部には、紙・布・プラスチックなどの異物を入れないでください。
発煙・発火のおそれがあります。
温風空気取入口の中に、指・棒・針金などを差しこまないでください。
けがをするおそれがあります。

油漏れ確認

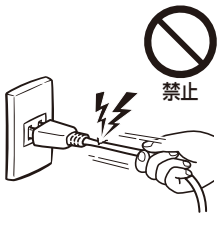
給油口は確実に閉め、給油口を下にして、油漏れがないことを確かめてください。
給油口が確実に閉まっていないと簡単に開いて、火災のおそれがあります。

居室内給油禁止

給油は、必ず火の気のないところでおこなってください。
火災のおそれがあります。

電源コードを傷めない

電源コードに無理な力を加えたり、物をのせたりしないでください。
また、電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。
火災や感電の原因になります。



給油時消火

給油は必ず消火してから、火の気のないところでおこなってください。
こぼれた灯油は、よくふきとってください。
火災のおそれがあります。

シリコーン配合製品を使用しない

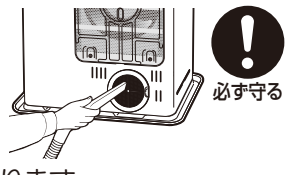
ファンヒーターの故障の原因となることが表示されているヘアケア製品などは、シリコーンが配合されています。ファンヒーターと同時に使用しないでください。
また、洗面台などで洗い流さないトリートメントなどの製品を塗布され、乾かさずにファンヒーターを使用中の部屋へ移動した場合も故障の原因となりますのでご注意ください。燃焼部にシリコーン酸化物が付着し、点火ミスや途中消火などの原因となります。
注意表示がなくてもシリコーンが配合されている製品（化粧品類・保湿用クリーム、衣類の防水剤・柔軟剤、家具などのつや出し剤など）も同時使用は控えてください。
やむなくご使用になる際はファンヒーターの運転を一時的に停止し、使用後は換気を十分におこなってから運転を再開してください。
シリコーン配合製品が原因で修理を依頼されたときは、保証期間内でも有料となります。

※製品表示ラベルの記載内容

例)「○○シリコン○○」「○○シリコーン○○」「○○メチコン○○」「○○シラン○○」「○○シロキサン○○」「シリカ」と成分表示されている場合があります。

ほこりの除去

エアーフィルターは、週1回以上必ず掃除してください。
ごみ、ほこりなどでフィルターがつまると、異常燃焼のおそれがあります。



使用前に

⚠注意(CAUTION)

傾き・振動注意

禁止

水平な場所で使用してください。
振動の激しいところでは、使用しないでください。
異常燃焼や誤作動の原因になります。

正常燃焼の確認

必ず守る

正常に燃焼していることを確かめてください。(☞ 10 ページ)

- 燃焼に必要な空気の濃度が薄くなる高地(標高500～1,500m)では、高地切換が必要です。(☞ 9ページ)

温風に直接あたらない

禁止

温風に直接長時間あたらないでください。
低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。

- お子様、高齢者、病気の方などがお使いになる場合は、周囲の人が十分注意してください。

高温部接触禁止

接触禁止

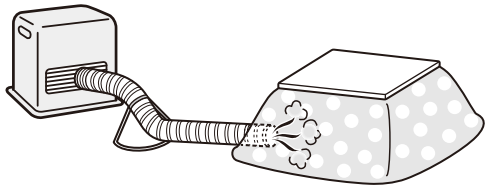
燃焼中や消火直後は、温風吹出口付近が高温となりますので、手などふれないでください。
やけどのおそれがあります。

- 小さいお子様のいるご家庭では、特に注意してください。

温風ダクトの使用注意

注意

温風ダクトを使う場合は、温風ダクト本体・温風ダクト吹出口から出る温風が高温となり、やけどのおそれがあります。
ファンヒーター本体やこたつなど温風吹出口の前方への悪影響が考えられますので、十分注意してお使いください。



長期間使用しないときは電源プラグを抜く

プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
火災や予想しない事故の原因になります。

電源プラグのお手入れをする

必ず守る

ときどきは電源プラグを抜き、ほこりおよび金属物を除去してください。
ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

次の場所では使用しない

禁止

火災や予想しない事故の原因になります。

- 水平でない場所、不安定な場所
- 風のあたる場所、部屋の出入口および屋外
- マントルピース(暖炉)、押入れなどファンヒーターが囲われる場所
- ほこりや湿気の多い場所
- 不安定な物をのせた棚などの下
- 可燃性ガスの発生する場所、またはたまる場所
- 直射日光のあたる場所、温度の高い場所
- 動・植物の育成・栽培など人のいない場所
- 標高が1,500mを超えるような高地
- 理・美容室、クリーニング店、はんだ付け作業所、メッキ・塗装工場などスプレーや化学薬品を使う場所

特殊用途には使用しない

禁止

食品・精密機器・美術品の保存や、動植物の飼育・栽培などには使用しないでください。

日常のお手入れ時の注意

必ず守る

日常の点検・手入れは必ずおこなってください。
点検・手入れは消火後ファンヒーターが十分冷えてから、必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。
やけどや感電のおそれがあります。
(☞ 13～14 ページ)

分解修理の禁止

分解禁止

故障、破損したら、使用しないでください。
不完全な修理は危険です。
お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に修理を依頼してください。

電源プラグは確実に差しこむ

必ず守る

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差しこんでください。
また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
火災の原因になります。
ぬれた手での抜き差しはしないでください。
感電の原因になります。

⚠注意(CAUTION)

運搬するとき

必ず守る

ファンヒーターを運搬する場合は、給油タンクを抜き、固定タンク内の灯油を抜いてください。運搬の途中で灯油がこぼれて周囲を汚すおそれがあります。

不良灯油使用禁止

禁止

変質灯油、不純灯油（灯油以外の油、水・ごみが混入した灯油など）などの不良灯油を使用しないでください。
異常燃焼や故障のおそれがあります。

保管時にしていただくこと

必ず守る

長期間使用しないとき、または保管するときは、必ず給油タンク、固定タンク内の灯油を抜いてください。
傾けたり、横倒しの状態では保管しないでください。火災のおそれがあります。

灯油の保管

必ず守る

灯油は、火気、雨水、ごみ、高温および直射日光をさけた場所に保管してください。
ガソリンなどと一緒に保管しないでください。
誤って使用すると異常燃焼や火災のおそれがあります。

廃棄するとき

必ず守る

ファンヒーターを廃棄処分するときは、必ず給油タンク・固定タンク内の灯油を給油ポンプなどで抜き取ってください。（☞ 17 ページ）
灯油が入ったまま廃棄するとリサイクルの際に思わぬ事故になるおそれがあります。

お願い(NOTICE)

灯油の廃棄

灯油の廃棄処分は、灯油をお買いあげになった販売店にご相談ください。

結露に注意

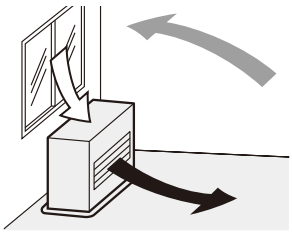
ファンヒーターは室内で燃焼する製品のため、気密の高い部屋などでは、換気を十分にしてください。
換気をしないと、壁や天井が結露する場合や結露によってパソコンや電気機器等に障害が生じるおそれがあります。

2 使用する場所

効果的に使用するために

窓の下や壁面に設置

●外気に接する窓の下や壁面に置くと、冷気がファンヒーターで暖められ、温風として対流しますので効果的です。

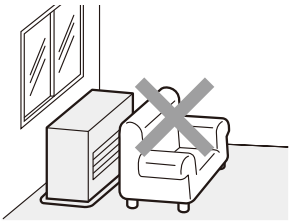


温風の循環を妨げない

●温風吹出口の前面に障害物を置かないでください。

●障害物があると、部屋の温度にむらができるばかりでなく、本体の温度が上昇して危険です。

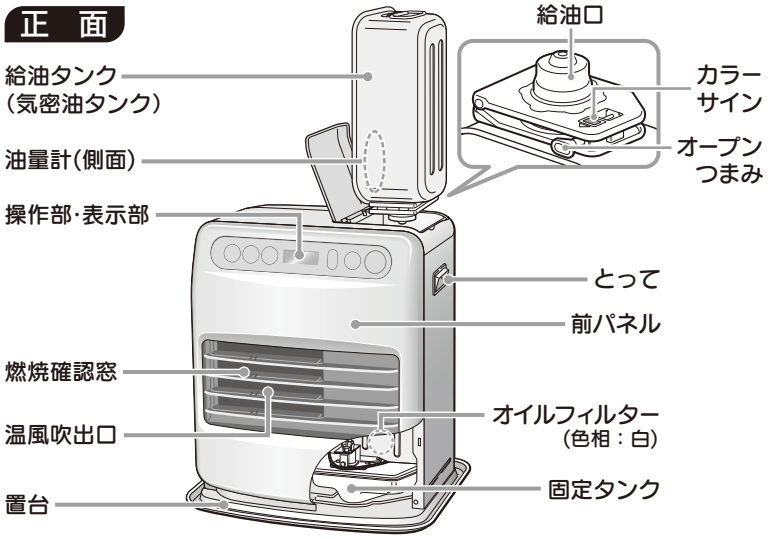
●温風吹出口側の空間を広くとれる場所を選んでください。

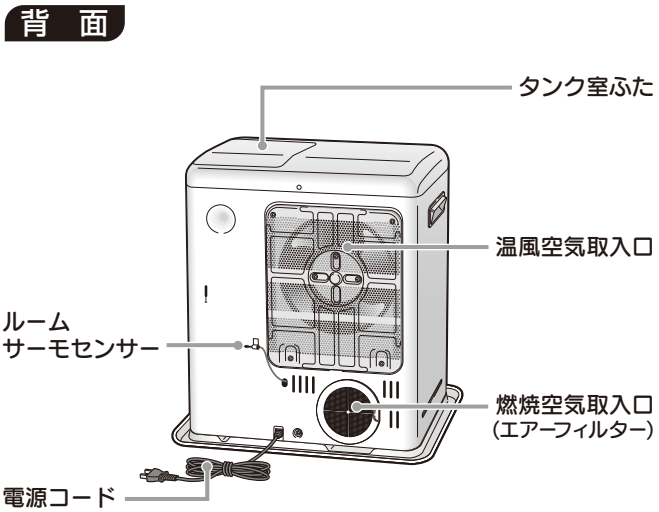


ご注意
- 熱に弱いカーペットや床の上で長時間使用すると、変色したり、そり返ることがあります。熱に強いマットなどを敷いてください。
- 移動するときは引きずらないでください。床面、畳、カーペットに傷を付けたり、本体底面の塗装がはがれてさびの原因になるおそれがあります。
- 車両等の密閉空間で使用しないでください。十分に換気できず酸素が不足して不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生して中毒になるおそれがあります。また、火災など思わぬ事故の原因になります。

3 各部のなまえ

外観図・構造図





操作部・表示部のなまえとはたらき

（□詳しい説明のあるページです。）

秒速キー 11
秒速ランプ（緑）

●秒速点火
秒速点火のセット･解除をするときに押します。

●秒速タイマー
秒速タイマーのセット・解除をするときに押します。（セットは長押し）

入タイマーキー 12
入タイマーランプ（緑）

入タイマー運転のセットをするときに押します。
また、長押しすると1時間運転後、入タイマー運転のセットができます。

表示切換/セーブキー 6･11
セーブランプ（オレンジ）

●表示切換
1回押すごとにデジタル表示部が切りかわります。

●セーブモード
セーブモードのセット・解除をするときに長押しします。

高地切換 9

標高が500m以上の場所で使用する場合にセットします。「入タイマー」「延長/切タイマー」キーを同時に押します。

高地表示 9

高地設定しているときに表示します。

延長/切タイマーキー 10･12

運転を延長するとき、切タイマーのセットをするときに押します。1回押すごとに切タイマー時間が選べます。

運転キー 10
運転ランプ（緑）

点火・消火するときに押します。

給油表示 9

固定タンク内の灯油が少なくなってから給油するまで点滅します。また、給油時消火装置が作動したときに点灯します。

換気表示 換気

1時間運転するごとに1分間点滅して、換気時期をお知らせします。

ご注意 換気表示にたよらず1時間に1～2回必ず換気してください。

時刻キー 11

現在時刻、入タイマー時刻、秒速タイマー時刻を合わせるときに押します。

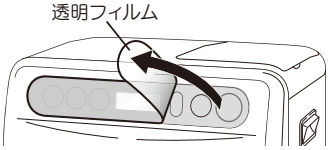
温度キー 10

設定温度を変えるときに押します。
※▼キーは音程が異なります。

チャイルドロック 12

チャイルドロックのセット・解除をするときに▲▼キーを同時に押します。デジタル表示部に「CL」と表示します。

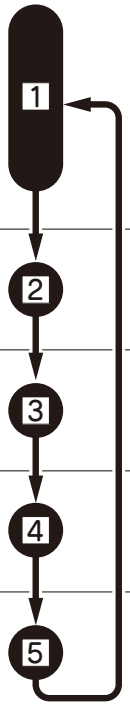
操作部・表示部の表面に透明フィルムを貼っていますので、取り除いてください。
ただし、透明フィルムがついていない場合もあります。



表示部

注）イラストは説明のため全部点灯・表示した状態にしてあります。

キーを押すと表示が切りかわります

デジタル表示部			表示切換
温度表示	設定温度 室内温度 22 18	●運転中 左側：設定温度表示（12～30℃） 右側：室内温度表示（0～35℃）	
現在時刻表示	設定温度 室内温度 午後 10:35	●運転停止中 "時計" 消灯 左図は 午後10時35分の例	
時計合せ表示	設定温度 室内温度 午前 8:30 時計	"時計" 点滅 左図は 午前８時30分にセットの例 数秒間放置すると 1 にもどります。	
入タイマー合せ表示	設定温度 室内温度 午前 6:30 タイマー	"タイマー" 点滅 左図は 午前６時30分にセットの例 数秒間放置すると 1 にもどります。	
秒速タイマー合せ表示	設定温度 室内温度 午前 9:30 秒速タイマー	"秒速タイマー" 点滅 左図は 午前９時30分にセットの例 数秒間放置すると 1 にもどります。	
お知らせ消音モード確認表示	設定温度 室内温度 on b	お知らせ消音モード確認の表示 ブザーオン：on b　　ブザーオフ：oF b 数秒間放置すると 1 にもどります。	
再通電表示	設定温度 室内温度 -- --	電源プラグをコンセントに差しこんだときや停電後の再通電のときの表示	
灯油切れカウントダウン表示	設定温度 室内温度 oF 15 給油	" oF 15 " 点滅、" 給油 " 点滅 灯油切れによる自動消火15分前の例 " 15 " の箇所は、1分経過するごとに "14"・"13" … と減算していきます。	
自動消火予告表示	設定温度 室内温度 oF 15	" oF 15 " 点滅 消し忘れ消火装置による自動消火15分前～ 入タイマー運転、切タイマー運転による自動消火15分前～ " 15 " の箇所は、1分経過するごとに "14"・"13" … と減算していきます。	
自動消火表示	設定温度 室内温度 oF F	" oF F " 点灯 消し忘れ消火装置による自動消火 入タイマー運転、切タイマー運転による自動消火	
エラー表示	設定温度 室内温度 E9	エラー表示の例　" E9 "：対震自動消火装置の作動 ※再度、点火操作をしてください。 その他のエラー表示については、15ページを参照してください。	

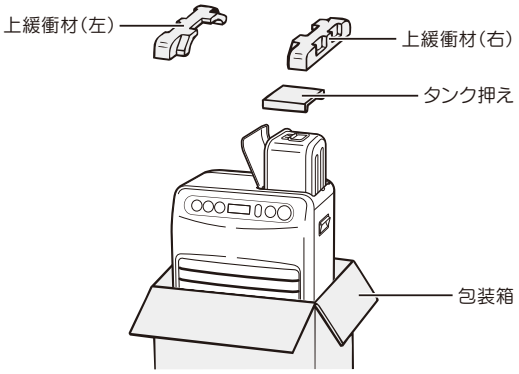
4 使用前の準備

使用前の準備

包装箱からファンヒーターを出す

●包装箱からファンヒーターを取り出し、 緩衝材を取り除いてください。

●包装箱、緩衝材はファンヒーターの保管に必要です。また、取扱説明書も忘れずに保管してください。



次のことは、工場での燃焼テストによるもので、異常ではありません。
- ●固定タンクに少量の灯油が残っている。
- ●オイルフィルターがぬれている。
- ●温風吹出口から見える燃焼筒（炎を囲んでいる筒）が変色している。

使用燃料

燃料は必ず灯油（JIS１号灯油）を使用してください。

● ⚠危険 ガソリンなどの揮発性の高い油は絶対に使用しないでください。火災の原因になります。

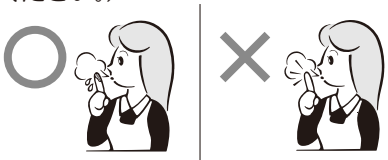
● ⚠注意 不良灯油（変質灯油、不純灯油）は絶対に使用しないでください。

●添加剤や助燃剤などは使用しないでください。

●灯油は必ず火気・雨水・ごみ・高温および直射日光をさけた場所に保管してください。

灯油とガソリンの見分けかた

指先に燃料をつけ､息をふきかけます。(火の気のないところでおこなってください。)

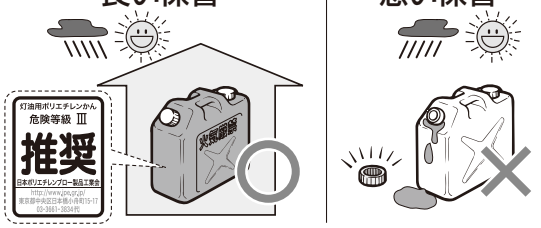


灯油は ぬれたまま　　ガソリンは すぐ乾く

正しい灯油の保管方法

●火気、雨水、ごみ、高温、日光を避けた場所で、保管してください。翌シーズンに持ち越さないようにしてください。

●紫外線を通しにくい色付きの灯油用ポリタンク(推奨マーク付)を使用してください。乳白色のポリタンク(水用)は使用しないでください。



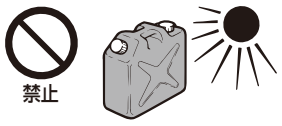
●ふたは、しっかり閉めて保管してください。但し、灯油は紫外線だけでなく温度でも変質するので、推奨マーク付の灯油専用容器でも日なたには放置しないでください。日なたに放置すれば変質灯油になってしまいます。

不良灯油（変質灯油･不純灯油）とは…

変質灯油

以下のような保管をした灯油は、変質する可能性があります。

- ●昨シーズンより持ち越した灯油
- ●温度の高い場所で保管した灯油
- ●日光のあたる場所で保管した灯油
- ●乳白色のポリタンクで保管した灯油
- ●灯油用ポリタンクのふたが開けてあった灯油

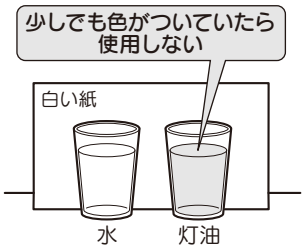


不純灯油

- ●水やごみなどが混入した灯油
- ●ガソリン、軽油、シンナー、天ぷら油、機械油などが混入した灯油
- ●灯油以外の油を入れたことのある容器に保管した灯油
- ●水抜剤や助燃剤を添加した灯油

不良灯油（変質灯油･不純灯油）の見分けかた

●2つのコップを用意し、片方には水、もう片方には灯油を入れます。その2つのコップの背後に白紙をあてて色を比較し、灯油に色が付いていたら変質灯油の可能性があります。



●変質灯油になるとうす黄色をおびた色になったり、すっぱい臭いがしたりします。

●水が混入した不純灯油の場合は、水が下にたまり灯油と水が分離した状態になります。

※保管の状態によっては、無色透明でも灯油が変質している場合があります。

■変質灯油や不純灯油などの不良灯油を使用すると、機器の故障の原因になります。

- ●気化筒にタールがたまり、白煙が出て点火しにくくなったり、強い臭いがして、消火しにくくなります。
- ●異常燃焼や途中消火など故障の原因になります。

■変質灯油や不純灯油などの不良灯油を使用したときは…

- ●給油タンク・固定タンク内の灯油を抜き、きれいな灯油で２～３回洗ってから使用してください。(不良灯油が残っていると再発します。)
- ●不良灯油を抜きとっても効果のないときは、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。

ご注意 ●変質灯油や不純灯油などの不良灯油が原因で修理を依頼されたときは、保証期間中でも保証の対象外となります。
●不良灯油の処理でお困りの場合は、灯油をお買いあげの販売店にご相談ください。

給油

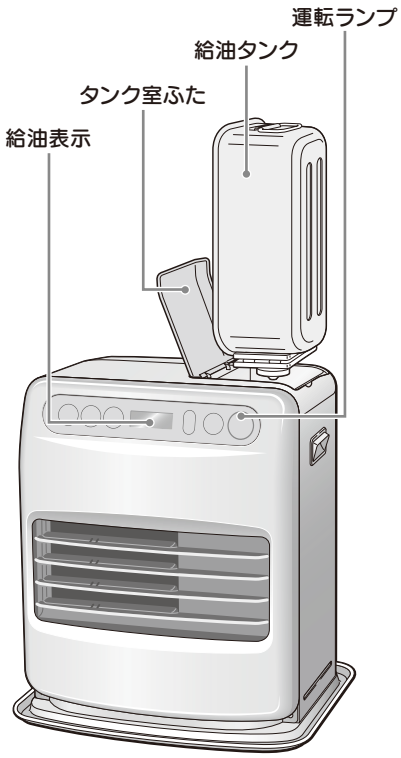
● ⚠注意 給油は必ず消火してから火の気のないところでおこなってください。

給油の手順と注意

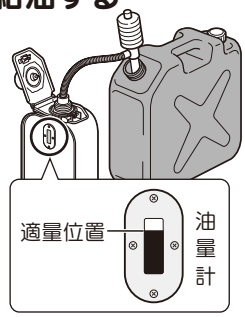
1.給油タンクを取り出し、給油口を開く

●オープンつまみを強く引いて、給油口を開いてください。

- ●燃焼中に給油タンクを抜くと、安全のために給油時消火装置が働いて、自動的に消火します。
- ●入タイマー運転のセット中に給油タンクを抜くと、入タイマーセットは解除します。
- ●給油タンクは、ぶつけたり落としたりしないよう、ていねいに取り扱ってください。



2.給油する



●市販の給油ポンプなどを使用して、油量計を見ながら給油してください。
●適量位置まで色が変わったら、給油をやめてください。

- ●灯油が油量計のところまで入ってくると、黒色に変わってきます。
- ●給油口に力を加えて変形させますと、油漏れの原因になりますので、変形させないでください。
- ●給油ポンプのホースが抜けないよう注意してください。

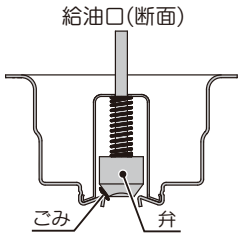
3.給油口を閉める

● ⚠警告 **使用方法や保管状態が悪く、給油口や給油タンクにさびが発生した場合は使用しないでください。給油口が確実に閉まらず、灯油が漏れて火災の原因になります。**

● ⚠注意 **給油口は、確実に「パチン」と音がするまで図の位置を強く押して確実にロックし、先端を指で持ち上げて開かないことを確かめてください。**
給油口を下にして、油漏れがないことを確かめてから、ファンヒーターに正しく静かに入れてください。固定タンクや給油タンクに強い衝撃をあたえると、油漏れや故障の原因になります。

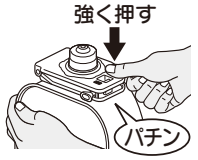
● ⚠注意 **給油口が確実に閉まっていないと灯油がこぼれて、火災の原因になります。**

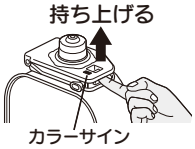
- ●カラーサインが ■ 全面青で表示していることを確認してください。▮ のような場合は、再度強く押してください。
- ●給油口の弁部などに、ごみなどがはさまっているときは取り除いてください。



①確実にロック ➡ ②ロックの確認

「パチン」と音がするまで強く押してください。





給油口を閉めたあと、先端を指で持ち上げ、開かないことを確かめてください。

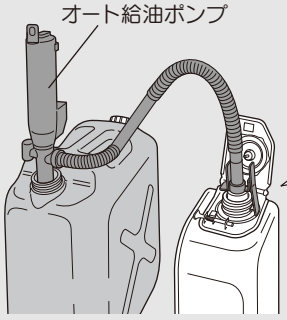
- ●こぼれた灯油はよくふき取ってください。
- ●給油タンクが正しくセットされていないと、不着火や途中消火の原因になります。

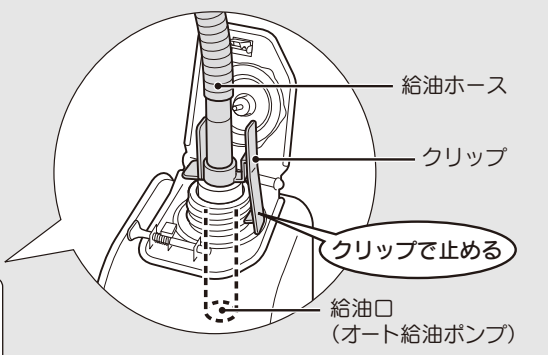
- ●空気の冷えたところで給油し、給油量が少ない（半分以下）場合は、製品本体にセットする前に給油口を一度開閉して給油タンク内の圧力を逃がしてください。（すぐにセットすると、温度変化により給油タンク内の空気が膨張するため灯油が異常流出し、固定タンクよりあふれることがあります。）

お願い オート給油ポンプ（自動停止装置付）を使用する場合

●市販品のオート給油ポンプの給油ホース先端（給油口）を確実に奥まで給油タンクに差しこみ、クリップで止めてから給油してください。
クリップで固定しないと、自動停止しないで灯油があふれることがあります。必ず、クリップで止めてから給油してください。

※オート給油ポンプの取扱方法（クリップの固定方法詳細）は、オート給油ポンプの取扱説明書を確認ください。
※クリップで固定できないオート給油ポンプの場合は、給油ホース先端がはずれないように手をそえて確実に奥まで給油タンクに差しこんで給油してください。





※オート給油ポンプの給油口を奥まで給油タンクに差しこむ

使用前に

給油のめやす 固定タンク内の灯油が少なくなると、消火するまでの時間をお知らせします。

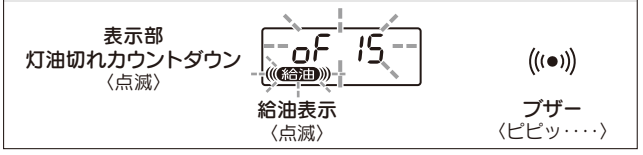
●固定タンク内の灯油が少なくなると
- ●表示部 ―――― 灯油切れカウントダウン表示点滅
  ※"15"の箇所は、1分経過するごとに"14""13"… と減算していきます。
- ●給油表示 ―――― 点滅
- ●ブザー ピピッ‥‥

でお知らせしますので早めに給油してください。

●給油しないで使用し続けると、灯油切れとなり自動消火します。
- ●運転ランプ ―――― 早い点滅
- ●表示部 ―――― 時刻表示点灯
- ●給油表示 ―――― 点滅
- ●ブザー ピピッ‥‥

でお知らせします。

給油予告…消火する15分前の例



灯油切れ自動消火

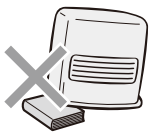
ご注意
- ●灯油がなくなって消火した場合は、必ず給油してから点火操作をおこなってください。給油をしないと再運転できません。
- ●給油予告中に消火し給油しないで運転した場合は、給油表示は点滅しますが灯油切れカウントダウンは表示しません。
- ●使用状況に応じて灯油切れカウントダウンが終了する前に消火する場合があります。

点火前の準備と確認

水平な場所に設置

水平で安定のよい床の上に設置してください。

- ●水平に設置されていれば、対震自動消火装置は自動的にセットされます。
- ●傾斜した場所や、振動の激しい場所で使用すると、燃焼不良の原因になります。また、対震自動消火装置が正しく作動しません。



油漏れの確認

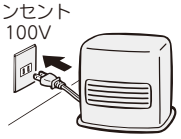
置台・給油タンクに、油漏れ・油たまりや油のにじみがないか確認してください。

- ●油漏れのときは、使用を中止し、給油タンクを取り出してからお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

電源の接続

電源プラグをコンセントに刃の根元まで確実に差しこんでください。

ご注意 電源プラグ・コードの発熱・発火を防ぐために…
- ●電源は、必ず適正配線された単相100Vのコンセントを使用してください。
- ●電源コードは、途中で接続したり延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線をしないでください。
- ●電源プラグの抜き差しは、必ずプラグを持っておこなってください。
- ●ほこりなどの付着がないか、ときどき点検・掃除をしてください。



高地切換

標高が500m以上の場所では、酸素不足により黄火燃焼（赤火）になる場合がありますので高地切換をしてください。

●⚠注意 標高1,500mを超える高地では使用しないでください。一酸化炭素中毒の原因になります。

高地切換のしかた

運転停止中に「入タイマー」「延長/切タイマー」キーを同時に押す

【標高が 500m以上の主な都市】
長野県 ― 松本市、岡谷市、飯田市、諏訪市、小諸市、伊那市、佐久市、大町市、茅野市、塩尻市、駒ケ根市
山梨県 ― 富士吉田市
岐阜県 ― 高山市　　栃木県 ― 日光市など

【標高 1,000m以上の主な町村】
長野県 ― 木曽町、川上村、原村、南牧村
群馬県 ― 草津町など

高地設定モードとなります。

その間に ＋ キーを１回押すと「5 00」⛰ と表示し、標高500～1,000mの設定が完了です。

さらに ＋ キーを１回押すと「10 00」⛰と表示し、標高1,000～1,500mの設定が完了です。

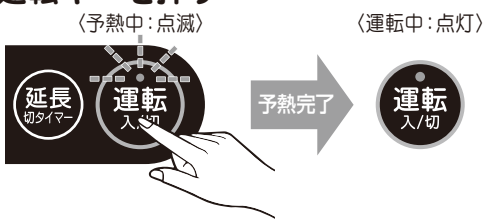
数秒間操作がないとき、デジタル表示部は自動的に元の表示にもどります。

●もとにもどす場合（高地設定の解除）
高地設定モードにし、その間に ＋ キーを押し、デジタル表示部に「0」と表示し、⛰ 表示が消えると完了です。

5 使用方法

点火

運転キーを押す



●運転ランプが点滅し、予熱を開始します。
●デジタル表示部に「設定温度」と「室内温度」を表示します。
●予熱が完了すると自動点火し、運転ランプが点灯に変わり、運転を開始します。

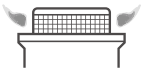
●着火時、放電音と同時に着火音を発し、一時的に黄色い炎が生じますが異常ではありません。
●点火操作から放電(着火)まで、室温により多少変化しますが、約55秒の予熱時間がかかります。(室温が10℃よりも低い場合は、予熱時間が10～40秒程度長くなります。)
●点火時や消火時には、白煙や臭いが出ますが異常ではありません。(寒いときの点火時には、燃焼ガス中の水蒸気が白く見えるため、通常より多めの白煙が出ます。)

炎の状態の確認

●着火後、燃焼確認窓から燃焼状態を確認してください。
強火力のときに下のイラストのように見えます。

●出荷時に燃焼状態を調節してあります。万一、燃焼状態が正常でない場合は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

×リフト燃焼
炎が飛んだり浮いたりし、音や臭いが出て、立消えすることがある。



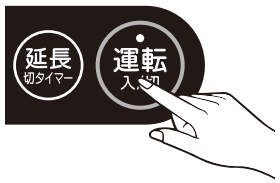
○正常燃焼
青い炎もしくは青い炎の中に黄色い炎が断続的に出ている。
(バーナが赤熱することがありますが異常ではありません。)

×黄火燃焼
黄色い炎が連続して全周に出ている。

■初めてのご使用・シーズン初めの初使用時には…
●給油タンクをセットしてから、4～5分位待って点火操作をしてください。
●防錆油や塗料などが焼けるため、煙や臭いが出ます。しばらくの間、換気をしながらご使用ください。
●送油経路内への空気の混入により、煙や臭いが発生し、一時的に炎が大きくなることがありますが異常ではありません。
●1回で着火しない場合は、再度点火操作をおこなってください。

消火

運転キーを押す



●運転ランプが消灯し、消火します。
●消火操作後、約10秒で燃焼を停止します。その間デジタル表示部が消臭動作中を表示します。
●消火後、本体内部が冷却するまで送風ファンが回ります。送風が止まるまで電源プラグを抜かないでください。

●消火時、電磁ポンプの制御音(ヒューンというような音)がします。(ニオイカットメカの動作音です。)
●消火操作後は、火が消えていることを確認してください。

〈消臭動作中のデジタル表示〉

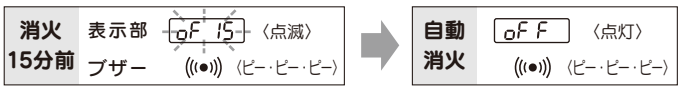
●緊急時以外に、ファンヒーターに強い衝撃を与えたり、電源プラグを抜いての消火はしないでください。
●消火直後に再点火すると、着火音が多少大きくなります。
●むやみに点火、消火をくりかえすと、臭いの原因になります。

■ニオイカットメカとは…
電子制御電磁ポンプで、ノズル先端に残った灯油を吸引し、消火時の臭いの元となる灯油を残しません。

ご注意 冷却用の送風ファンが回らずに消火した場合(電源プラグを抜いての消火、停電、過熱防止装置の作動)は、本体上部や温風空気取入口が熱くなり、やけどのおそれがあります。

消し忘れ消火装置

万一の消し忘れを防止するため、点火操作後3時間および入タイマー運転後1時間で自動消火し、ブザーと oFF 表示の点灯でお知らせします。



●"15"の箇所は、1分経過するごとに"14"・"13"…と減算していきます。
●ブザーで消火15分前、10分前、3分前、自動消火時にお知らせします。

運転を延長したいとき

延長/切タイマーキーを押す

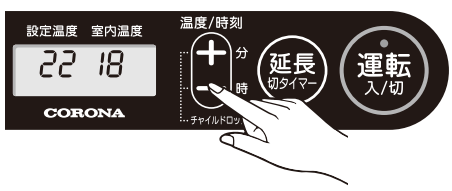
自動消火する前に押すと、運転を3時間延長します。

●3時間以外(2時間、1時間、30分間)のセットは切タイマー運転でできます。(☞12ページ)

●⚠警告 長時間連続して運転するときは、お部屋の換気に十分気をつけてください。

室温の調節

運転中に温度キーを押す



●希望の設定温度に合わせてください。押すごとに1℃ずつ変わり、押し続けると連続して変わります。(12 ～ 30℃の範囲でセットできます。)
●セットした設定温度は、電源プラグをコンセントから抜いたり、停電後再通電したときでも記憶しています。

●ルームサーモセンサーにより、設定温度に応じて自動的に火力調節をおこないます。
●せまい部屋や秋口・春先など外気温が比較的高いときに、室温が設定温度をこえる場合があります。
●ルームサーモセンサーはファンヒーター周辺の温度を感知していますので、お部屋の温度計とは数値が一致しないことがあります。
●ファンヒーターに直射日光やすきま風があたっていたり、他の暖房器具の影響を受けている場合には、ルームサーモセンサーが正確に感知しません。

使用方法

セーブモード

最大火力をおさえながら自動的に消火、点火することで、お部屋のあたためすぎを防ぎます。

運転中に表示切換/セーブキーを長押しする

［長押し］

●セーブランプが点灯します。
●解除したいときは、再度運転中に表示切換/セーブキーを長押しし、セーブランプを消灯してください。
●セットしたセーブモードは電源プラグをコンセントから抜いたり、停電後再通電したときでも記憶しています。

※ 消火時

■セーブモードとは…

最大火力を60%におさえて運転します。最大火力を下げて使用したい場合（小さなお部屋、春先・秋口など）は、セーブモードをお選びください。セーブモードでは、室温が設定温度より約3℃上昇すると自動的に消火※し、設定温度まで下がると自動的に再点火して室温を調節します。消火時は、セーブランプが点灯します。

現在時刻の合わせかた

1.表示切換/セーブキーを押し、時計合せ表示にする

「時計」

●デジタル表示部を「時計」表示にしてください。

2.時刻キーを押し、時刻を合わせる

［例］午前8時30分に時刻をセット

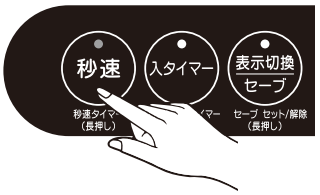
●デジタル表示部の時刻を合わせてください。押し続けると、表示は連続して変わります。

●午前、午後をまちがえないよう注意してください。
●数秒間操作がないとき、時刻合わせを完了し、デジタル表示部は自動的に元の表示にもどります。
●電源プラグをコンセントから抜いたり、停電後再通電したときは、再度現在時刻合わせをおこなってください。

秒速点火

あらかじめ運転停止中も燃焼部をあたためておくこと（予熱）により、運転キーを押すと約7秒で点火できます。

秒速キーを押す



●秒速ランプが点灯し、予熱を開始します。
●予熱開始75秒経過後、秒速点火できます。
●解除したいときは、再度秒速キーを押して、秒速ランプを消灯してください。

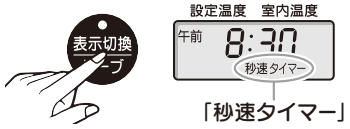
●秒速点火は18時間後、自動的に解除します。
●運転キーを押し、運転を始めると自動的に秒速点火は解除します。
●秒速ランプが点灯しているときは、運転停止中のみ平均約80W（最大650W）の消費電力がかかります。
●入タイマー運転をセットすると秒速点火は自動的に解除し、秒速キーを押しても操作を受け付けません。
●低温時は点火時間が延びることがあります。

ご注意 秒速ランプが点灯しているときは、運転停止中でも本体上部や温風空気取入口が熱くなり、やけどのおそれがあります。

秒速タイマー

秒速点火を予約することで予熱開始までの電気代を節約します。

1.表示切換/セーブキーを押し、秒速タイマー合せ表示にする



「秒速タイマー」

●デジタル表示部を「秒速タイマー」表示にしてください。
●現在時刻の合わせかたと同様に希望の秒速タイマー時刻に合わせてください。
●現在時刻が合わせてあることを確認してください。
●希望の秒速タイマー時刻に合わせてある場合は、操作する必要はありません。

2.秒速キーを長押しする

［長押し］

「秒速タイマー」

秒速タイマー
セット時刻表示

数秒後

現在時刻表示にもどりセット完了
（運転中は温度表示にもどります。）

●秒速ランプが点灯し、セット時刻になると「秒速タイマー」表示が消灯します。
●セット時刻以降に運転キーを押すと約7秒で点火します。
●解除したいときは、秒速キーを押し、秒速ランプ、秒速タイマー表示を消灯してください。
●セットした秒速タイマー時刻は、電源プラグをコンセントから抜いたり、停電後再通電したときでも記憶しています。
現在時刻は再度時刻合わせをおこなってください。

●秒速タイマーセット時刻より2時間後、自動的に秒速点火は解除します。
●秒速タイマーセット時刻前に運転キーを押すと、秒速タイマーは解除し通常に点火します。（秒速点火しません。）
●秒速タイマーセット時刻を確認するときは、表示切換/セーブキーを押して、デジタル表示部を「秒速タイマー」表示にしてください。

ご注意 秒速タイマーセット時刻5分前から予熱を開始し、2時間継続します。予熱中は本体上部や温風空気取入口が熱くなり、やけどのおそれがあります。

入タイマー運転

運転を停止し、入タイマー時刻になると運転を開始します。１時間運転後のセットもできます。

1.表示切換/セーブキーを押し、タイマー合せ表示にする

●デジタル表示部を「タイマー」表示にしてください。
●現在時刻の合わせかたと同様に希望の入タイマー時刻に合わせてください。
●現在時刻が合わせてあることを確認してください。
●希望の入タイマー時刻に合わせてある場合は、操作する必要はありません。

2.運転キーを押す

運転中にセットする場合は、押す必要はありません。

3.入タイマー運転をセットする

すぐに運転を停止し
入タイマー運転をセットしたいとき

入タイマーキーを押す

入タイマー運転セット中
〈点灯〉入タイマー　〈点灯〉デジタル表示 タイマー　〈消灯〉運転 入/切

セット時刻になると

自動点火
〈点灯〉入タイマー　〈消灯〉デジタル表示 タイマー　〈点灯〉運転 入/切

１時間すぎると

自動消火
〈点灯〉入タイマー　〈点灯〉デジタル表示 oFF　〈消灯〉運転 入/切　ブザー (ピー-ピー-ピー)

自動消火の15分前より oF 表示で消火予告します。（☞ 10ページ）

自動消火前に続けて運転したいときは…
延長/切タイマーキーを押す（☞ 10ページ）
●入タイマーランプが消灯し、運転を３時間延長します。

１時間運転後自動停止

１時間運転後に
入タイマー運転をセットしたいとき

入タイマーキーを長押しする

１時間運転中
〈点滅〉入タイマー　〈点灯〉デジタル表示 タイマー　〈点灯〉運転 入/切

●運転時間の延長や１時間以外のセットはできません。
変更したいときは、運転キーを押して運転を停止し、再度入タイマー運転をセットしてください。
●1時間運転中に運転キーを押すと入タイマーセットは解除します。
●自動消火の15分前より oF 表示で消火予告します。
（ブザーは鳴りません。）

●解除したいときは、運転キーを押して、入タイマーランプとデジタル表示部のタイマー表示を消灯してください。
●セットした入タイマー時刻は、電源プラグをコンセントから抜いたり、停電後再通電したときでも記憶しています。
現在時刻は再度時刻合わせをおこなってください。

●安全にご使用いただくため、自動点火後1時間で自動消火し、ブザーと oFF 表示の点灯でお知らせします。
●入タイマー運転のセット中に給油タンクを抜くと、入タイマーセットは解除します。
●入タイマーセット時刻を確認するときは、表示切換/セーブキーを押して、デジタル表示部を「タイマー」表示にしてください。

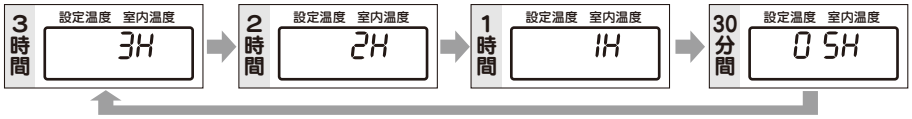
ご注意 ●入タイマー運転は、特に周囲に可燃物がないことを確認してください。

切タイマー運転

切タイマー時間だけ運転し、自動消火します。

運転中に延長/切タイマーキーを押す

●延長/切タイマーキーを繰返し押すと、切タイマー時間が次のように選べます。
延長/切タイマーキーを押している間のみ、切タイマー時間を表示します。



チャイルドロック

お子様のいたずら操作を防止します。

＋－キーを同時に押す

●デジタル表示部に「CL」と表示します。
●運転停止中は「CL」を表示し、運転中は数秒後に温度表示にもどります。
運転中または運転停止中でもチャイルドロックをセットできます。
●解除したいときは、再度 ＋－ キーを同時に押してデジタル表示部に「CL」が点滅すると、数秒後に解除します。

●セット中は運転停止（運転中）および秒速点火、秒速タイマー、入タイマー、チャイルドロックの解除操作のみ受け付けます。運転中にそれ以外のキーを押すと、デジタル表示部に「CL」と数秒間表示します。
●デジタル表示部「oFF」のときにチャイルドロックを解除したいときは、運転キーを押して「oFF」表示を消灯してからおこなってください。

使用方法

お知らせ消音モード

お知らせ音を消音することができます。

運転停止中に表示切換/セーブキーと延長/切タイマーキーを同時に長押しする

［長押し］

- デジタル表示部に oF b と表示され消音モードをセットします。
- 解除したいときは、再度表示切換/セーブキーと延長/切タイマーキーを同時に長押しして、デジタル表示部に on b と表示してください。
- セット状態の確認は表示切換/セーブキーを4回押してください。（☞ 6ページ）

- 消火後の本体冷却中、入タイマー運転セット中、秒速点火セット中、チャイルドロックセット中は操作を受け付けません。
- お知らせ消音モードの設定は、電源プラグをコンセントから抜いたり、停電後再通電したときでも記憶しています。
- 消し忘れ消火装置による自動消火、灯油切れ自動消火などに鳴るブザーを消音することができます。操作音はお知らせ消音モードセット時でも鳴ります。

6 日常の点検・手入れ

点検・手入れは、消火後ファンヒーターが十分冷えてから、必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。

ご注意
- **燃焼部の分解、電気部品の分解や市販品との交換は絶対にしないでください。**
- **ファンヒーターおよびその周辺は、いつもきれいに掃除しておいてください。**
- **故障・破損したものは使用しないでください。**

使用ごと

周辺の可燃物の点検

- ⚠警告 ファンヒーターの周辺には燃えやすいものを置かないでください。

油漏れ・油のたまり・油のにじみの点検

- 油が漏れていたり、油のたまり、にじみがないか点検してください。
- 油漏れのあるときは、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に修理を依頼してください。

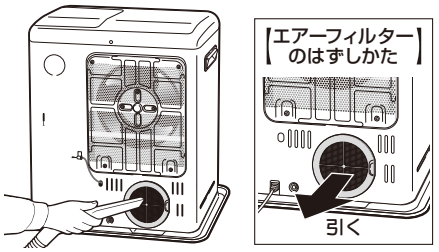
週に一回以上

エアーフィルターの掃除

⚠注意 **エアーフィルターが、ごみやほこりで目づまりすると燃焼不良の原因になります。**

- ごみやほこりを掃除機で吸い取ってください。

【エアーフィルターの汚れがひどいとき】
- エアーフィルターをはずして掃除ができます。
- 水洗いをしたときは、よく乾燥させてから取り付けてください。
- エアーフィルターをはずしたままで使用しないでください。（はずしたままでご使用されますと、ごみやほこりなどが送風経路に侵入し、異常燃焼の原因になります。）

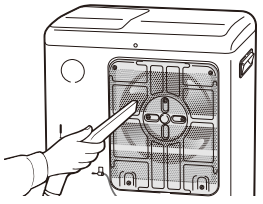


温風空気取入口の掃除

背面の温風空気取入口に綿ごみなどが付着すると風量が減少し、本体内部の温度が上昇して過熱防止装置が作動することがあります。

- 掃除機またはブラシできれいに掃除してください。

ご注意
- **ルームサーモセンサーをむやみに曲げたり、ひっぱったりしないでください。**
- **温風空気取入口の掃除をしても EF 表示が繰返し表示されるときは、羽根や内部にごみやほこりなどが多く付着していると考えられます。お買いあげの販売店または、修理資格者［一般財団法人 日本石油燃焼機器保守協会でおこなう技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）など］のいる店などに点検依頼されることをおすすめします。**



温風吹出口の掃除

温風吹出口に付着したほこりなどが焼けたり、白く変色することがあります。

- 本体や温風吹出口の汚れは、本体が冷えてから、しめらせたやわらかい布でふき取ってください。しつこい汚れは中性洗剤を使用し、十分からぶきしてください。

ご注意
- **温風吹出口の掃除の際は、ゴム手袋等を着用してください。けがをするおそれがあります。**
- **温風吹出口はホーロー仕上げですので強い力を加えないでください。変形したり、ホーローがはがれたりして掃除の際にけがをするおそれがあります。**

月に1回以上

対震自動消火装置の点検

●燃焼中に本体をゆすり、対震自動消火装置が作動して消火するか確認してください。作動するとデジタル表示部に E9 を表示します。

ご注意 ●対震自動消火装置は絶対に分解しないでください。

気密油タンクの給油時消火装置の点検

●燃焼中に給油タンクを抜いて、給油時消火装置が作動して消火するか確認してください。
（作動表示 ☞15ページ）

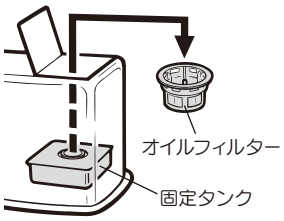
シーズンに1回以上

オイルフィルター・固定タンクの点検

オイルフィルターや固定タンクに水やごみがたまると、給油タンクに灯油が入っていても ……

- ●点火しない ―― E0
- ●炎がリフトし、臭いがする
- ●点火しても途中消火する ―― E4
- ●給油表示が点滅し、運転しない

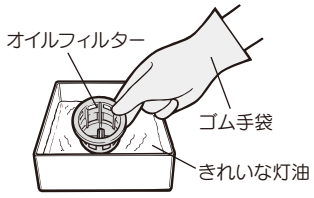
1.オイルフィルターを取り出す



●固定タンクからオイルフィルターを取り出してください。

●オイルフィルターを取り出すとき、水やごみを固定タンクに落とさないよう注意してください。

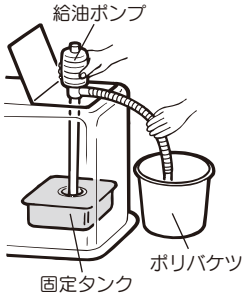
2.きれいな灯油で洗う



●オイルフィルターの中の水やごみを取ってからきれいな灯油で洗ってください。
●ごみが取れにくい場合は、歯ブラシなどを使うと便利です。

●フィルター部を破損させないよう注意してください。
●フィルター部に水が付着した場合は、十分に乾燥させてください。

3.ごみや水を抜く



●固定タンク内にたまっているごみや水を市販の給油ポンプなどで抜いてください。
（給油ポンプの先端を平らにカットすると、固定タンク内の灯油が抜き取りやすくなります。）

ご注意 ●固定タンクの底にたまったごみや水・灯油をふき取った場合は、ティッシュなどを固定タンクの中に残さないでください。残した場合、故障や異常燃焼の原因になることがあります。
●灯油をふき取る場合は、ゴム手袋等を着用してください。けがをするおそれがあります。

4.オイルフィルターをセットする

●オイルフィルターをもとどおりにセットしてください。

●こぼれた灯油はよくふき取ってください。

ご注意 ●水洗いは絶対にしないでください。水で洗うと灯油が通過しなくなります。
●オイルフィルター及び固定タンクの掃除をおこなっても、着火しない・炎がリフトし臭いがする・途中で消火する場合は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に修理を依頼してください。
●灯油の廃棄処分については、灯油をお買いあげになった販売店にご相談ください。

7 故障・異常の見分けかたと処置方法

安全装置が作動して自動消火し、デジタル表示部にエラー表示でお知らせします。
運転キーを押し（表示は消えます）、処置をしてください。処置後も表示するときは、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。（修理を依頼されるときは、エラー表示をお知らせください。）

表示部(エラー表示)、症状	原　因　[安全装置]	処　置　方　法
E9	●強い地震や振動、衝撃を受けたとき。 ●本体を傾けたとき。 [対震自動消火装置の作動]	●水平で安定した場所で使用してください。 ●地震によって作動した場合は、周囲の可燃物、本体の損傷、灯油のあふれなど異常がないことを確認した後、点火操作をしてください。 （作動後は自動的にセットされます。）
E0 ・ E4	●途中消火したとき。 ●点火ミスをしたとき。 ●異常燃焼をしたとき。 ●不良灯油を使用したとき。 ●送油経路に水、またはごみがたまっているとき。 ●エアーフィルターの目づまりによる燃焼用空気不足のとき。 ●シリコーン配合の商品を使用したとき。 〔シリコーン配合の商品には、ヘアトリートメントやムースなど枝毛用ヘアケア類、化粧品類・保湿用クリーム、家具や床のつや出し剤などがあります。〕 [不完全燃焼防止装置の作動] [点火安全装置の作動] [燃焼制御装置の作動]	●日常の点検･手入れ（☞ 13～14ページ）をしてから点火操作をしてください。 ●良質の灯油を使用してください。 ●送油経路の水抜き、オイルフィルターの掃除をしてください。 ●エアーフィルターを掃除してから点火操作をしてください。 ●シリコーン配合の商品を使用すると、点火しない、途中消火する原因になります。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
HH 点滅 HH 点灯	●不完全燃焼防止装置が働いて消火したとき。不完全燃焼防止装置が連続して4回作動すると「連続不完全燃焼通知機能」が働き、お知らせします。（HH点滅） さらに不完全燃焼防止装置（不完全燃焼通知機能）が連続して3回作動すると「再点火防止機能」が働き、再点火できなくなります。（HH点灯） [不完全燃焼防止装置の作動]	●直ちに部屋の換気を十分にして、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
□ ・ - - - - （停電時）　（復帰時）	●停電したとき。 ●電源プラグが抜けたとき。 [停電安全装置の作動]	●通電後、点火操作をしてください。 ●電源プラグを確認してください。 ●停電復帰後、本体内部が高温の場合は送風ファンが回ります。本体が冷えてから、点火操作をしてください。
EF	●温風空気取入口がほこりでつまっているとき。 ●温風吹出口がふさがれているとき。 ●停電復帰したとき。 [過熱防止装置の作動]	●本体が冷えてから、温風空気取入口や温風吹出口の点検・清掃、周囲の確認をした後、点火操作をしてください。（☞13ページ） ●処置後も繰返し表示するときは、使用を中止し、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
EH	●温風吹出口がふさがれているとき。 ●温風吹出口の前面に障害物などがあるとき。 [過熱防止装置の作動]	
oFF	●万一の消し忘れを防止するため、点火操作後3時間で自動消火します。 ●入タイマー運転、切タイマー運転により自動消火したとき。 [消し忘れ消火装置の作動]	●点火操作をしてください。（☞10ページ）
E1・E5・E6・E7・EP・EA	●電気系統の故障です。	●お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
運転 入/切 運転ランプ〈早い点滅〉 給油 給油表示〈点灯〉　ブザー〈ピピッ‥‥〉	●燃焼中に給油タンクを抜くと自動的に消火します。 ●入タイマー運転のセット中に給油タンクを抜くと、入タイマーセットは解除されます。 [気密油タンクの給油時消火装置の作動]	●給油タンクをセットしてください。
給油タンクに灯油が入っていても給油表示の点滅が止まらない。	●オイルフィルターや固定タンクに水やごみがたまると運転しないことがあります。	●オイルフィルター・固定タンクの掃除をしてから点火操作をしてください。（☞ 14ページ）

●具合の悪いときは、次の表も参考にして点検・処置をしてください。
●処置方法により処置しても良くならないときは、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

現象／原因	運転・点火しない。	白煙が出てとまる。	使用中室内が臭う。	使用中消火する。	赤火で燃える。	炎がリフトする。	油漏れがする。	エラー表示 HH	E0 E4	E9	EF	EH	EA	処置方法
電源プラグがコンセントに差しこまれていない。	●													コンセントに確実に差しこむ。
停電中である。	●													通電されるまで待つ。
対震自動消火装置が作動した。				●						●				再点火操作をする。／安定した場所で使用する。
給油タンクに灯油がない。	●													給油する。
給油口の弁の部分にごみなどがはさまっている。							●							ごみなどを取り除く。
不良灯油（変質灯油・不純灯油）を使用している。	●	●	●	●		●			●					良質の灯油を使用する。
送油経路に水、またはごみがたまっている。	●	●		●		●			●					送油経路の水抜き、オイルフィルターの掃除をする。
給油タンクの装着が悪い。	●			●										固定タンクに正しく装着する。
オイルフィルターが取り付けられていない。	●			●										固定タンクに正しく装着する。
送油経路接続部がゆるんでいる。			●	●		●	●							お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に修理を依頼する。
エアーフィルターが目づまりしている。	●	●	●	●	●				●					エアーフィルターを掃除する。
過熱防止装置が作動した。 温風吹出口がふさがれている。			●	●							●	●		障害物を取り除く。
過熱防止装置が作動した。 温風空気取入口がほこりでつまっている。			●	●							●	●		温風空気取入口を掃除する。
室温異常上昇防止装置が作動した。				●									●	窓を開け、部屋の換気をする。
消し忘れ消火装置が作動した。				●										再点火操作をする。
チャイルドロックがセットされている。	●													チャイルドロックを解除する。
点火プラグが劣化した。		●							●					お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に修理を依頼する。
不完全燃焼防止装置が４回以上作動した。								●						

次のような現象は故障ではありません。

●修理を依頼される前に再度お確かめください。

現象		説明
点火時・消火時	初めて使用するとき、煙や臭いが出る。	耐熱塗料やほこりが焼けるためです。しばらく窓を開けて換気をしてください。
	初めて使用するときや、シーズン初めの初使用時に１回で着火しない。	固定タンクに灯油がみたされるまで４～５分位待って点火操作をしてください。 送油経路の空気だまりなどにより、１回で着火しないことがあります。２～３回点火操作をくりかえしてください。
	点火時や消火時に白煙や臭いが出る。	点火時や消火時の多少の白煙や臭いは異常ではありません。
	燃焼開始時や消火後に「ピチ・ピチ」音がする。	器具本体が熱により膨張、収縮するためです。
燃焼時	炎がオレンジ色に輝く。	下記のような場合、炎がオレンジ色に輝くことがありますが異常ではありません。 ●海岸に近いところなど空気中に塩分が多い場合 ●空気中にほこりや水分が多い場合 ●超音波加湿器を使用している場合
	最大燃焼時に黄色い炎が断続的に出る。	黄色い炎が連続して全周に出ていなければ、異常ではありません。
	使用中にときどき「ポコ・ポコ」音がする。	給油タンクから固定タンクの方に灯油が流出するときの音で異常ではありません。
	使用中にときどき「コト・コト」音がする。	電磁ポンプの動いている音で異常ではありません。
	使用中にときどき「シュッ・シュッ」音がする。	灯油が気化する音で異常ではありません。
その他	温風吹出口が汚れる。	「日常の点検・手入れ」（☞ 13 ページ）にしたがい掃除をしてください。

8 部品交換のしかた

部品交換のときの注意

ご注意 不完全な修理、調整は危険ですので、部品の交換、調整が必要な場合には、お買いあげの販売店または修理資格者［一般財団法人 日本石油燃焼機器保守協会でおこなう技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）など］のいる販売店にご相談ください。

部品交換は **コロナ純正部品** とご指定ください。

消耗・劣化しやすい部品（交換が必要な部品）

■特に消耗・劣化しやすい部品
（高温火炎中で使用される部品）
●点火プラグ
（点火プラグが劣化すると白煙が出て着火しません）
●炎検知器（フレームロッド）

■長期間の使用により消耗・劣化しやすい部品
●バーナヘッド
●バーナヘッドリング

■変質灯油・不純灯油などの不良灯油の使用により劣化しやすい部品
●オイルフィルター　●炎検知器（フレームロッド）
●ポンプフィルター　●気化筒　●電磁ポンプ

9 保管（長期間使用しない場合）・廃棄のしかた

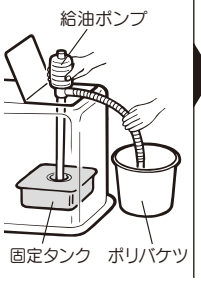
おしまいになるときは、電源プラグをコンセントから抜き、次の要領でお手入れしてから保管してください。

長期間使用しない場合

1.灯油を抜き取る

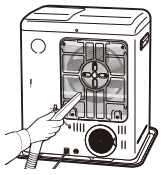
●給油タンクと固定タンク内の灯油を抜き取ってください。（☞14 ページ）

ご注意 ●水、ごみなどを残したまま保管すると、さびや穴あきの原因になります。
●灯油を抜かないと、保管時にこぼれたり、にじみ出たりして危険です。
●固定タンクの底にたまったごみや水・灯油をふき取った場合は、ティッシュなどを固定タンクの中に残さないでください。残した場合、故障や異常燃焼の原因になることがあります。
●灯油をふき取る場合は、ゴム手袋等を着用してください。けがをするおそれがあります。
●灯油の廃棄処分については、灯油をお買いあげになった販売店にご相談ください。



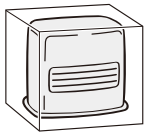
2.掃除をする

●オイルフィルターの掃除をしてください。（☞14ページ）
●エアーフィルター・温風空気取入口の掃除をしてください。（☞13 ページ）
ごみやほこりを掃除機で吸い取ってください。
●温風吹出口・本体の掃除をしてください。（☞13ページ）
しめらせた布で汚れを落としてから、からぶきしてください。



3.保管する

●包装箱に入れて、湿気のない場所に水平に保管してください。
取扱説明書も大切に保管してください。



ご注意 ●逆さにしたり、傾けたり、横倒しの状態では絶対に保管しないでください。抜けきれなかった灯油が漏れて火災のおそれがあります。

廃棄のしかた

●廃棄処分するときは、各自治体の指示に従ってください。
●必ず給油タンク・固定タンク内の灯油を抜きとってください。
●灯油の廃棄処分については、灯油をお買いあげになった販売店にご相談ください。

10 仕様

型式の呼び		FH-G32YA6（基本型式 FH-G3226Y）
種類		気化式・強制通気形・強制対流形
点火方式		高圧放電点火
使用燃料		灯油（JIS 1 号灯油）
燃料消費量	最大	3.19 kW（0.310 L/h）
	最小	0.63 kW（0.061 L/h）
暖房出力	最大	3.19 kW
	最小	0.63 kW
騒音（正面）		35 dB（最大燃焼時）　21 dB（最小燃焼時）
油タンク容量		5.0 L
燃焼継続時間		16.1 時間（最大燃焼時）
暖房のめやす		木造 15.0 m²（9 畳）まで　コンクリート 20.0 m²（12 畳）まで
外形寸法		高さ 424 ㎜　幅 385 ㎜　奥行 325 ㎜（置台を含む）
質量		8.8 kg
電源電圧及び周波数		100 V　50 / 60 Hz
定格消費電力		点火時最大 650 / 650 W　燃焼時 20 / 20 W
待機時消費電力		0.8 W
安全装置		対震自動消火装置 過熱防止装置 点火安全装置 燃焼制御装置 停電安全装置 不完全燃焼防止装置 消し忘れ消火装置 気密油タンクの給油時消火装置

11 アフターサービス

保証について

●このコロナ石油ファンヒーターには保証書がついています。（裏表紙に印刷されています。）「お買いあげ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受けとりになり、大切に保管してください。
●保証期間はお買いあげいただいた日から3年間です。なお、オイルフィルター、エアーフィルターの交換は保証期間中でも有料となります。
●次のような原因による故障および事故につきましては、保証の対象になりませんので注意してください。
　●変質灯油や不純灯油などの不良灯油、また灯油以外の燃料使用による故障や事故。
　●誤った使用方法による故障や事故。
　●シリコーンが原因の修理。シリコーン配合の商品を使用したとき。
●この製品は日本国内専用です。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。

修理を依頼されるとき

●本書の「故障・異常の見分けかたと処置方法」（☞15～16ページ）の項にしたがって調べても良くならないときは、電源プラグを抜いてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。
●ご連絡いただきたい内容は次の通りです。
　●品名：コロナ石油ファンヒーター
　●型式の呼び（上記「仕様」欄に記載）
　●ご住所・お名前・電話番号
　●お買いあげ日
　●故障状況（できるだけ具体的に）
●修理に際しては、保証書をご提示ください。保証期間中であれば保証書の規定にしたがって無料修理させていただきます。
●ご不明な点や修理に関するご相談は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

■保証期間が過ぎているときは

●お買いあげの販売店にご相談ください。修理によって使用できる製品についてはお客様のご要望により有料修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間

●石油ファンヒーターの補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の保有期間は製造打ち切り後6年です。

■修理に出されるときは

●輸送時や運搬時に給油タンク・固定タンク内に灯油が残ったままですと、傾きや振動で灯油がこぼれることがありますので、必ず抜き取ってください。

12 定期点検

長期間ご使用になりますと、器具の点検が必要です。

●２年に１回程度、シーズン終了後などにお買いあげの販売店または、修理資格者〔一般財団法人 日本石油燃焼機器保守協会（TEL 03-3499-2928）でおこなう技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）など〕のいる店などに点検依頼されることをおすすめします。（有料）

愛情点検	長年ご使用の石油ファンヒーターの点検をぜひ！		ご使用中止
	こんな症状はありませんか	●油漏れがする。 ●強い臭いがする。 ●運転中に異常な音がする。 ●白煙が出てとまる。 ●その他の異常や故障がある。	故障や事故の防止のため必ずお買いあげの販売店にご連絡ください。 点検・修理についてのご費用など詳しいことはお買いあげの販売店にご相談ください。

13 設計上の標準使用期間

【設計上の標準使用期間】８年　製造年は本体の型式が表示されているラベルに４桁で表示してあります。

石油ファンヒーターは製造後８年を目安に点検または取りかえをおすすめします。

１.設計上の標準使用期間の表示と説明

設計上の標準使用期間を過ぎての製品使用については、経年劣化により安全性が損なわれ重大事故にいたるおそれがあります。そのため設計上の標準使用期間は使用者が不具合なく製品を使用していても、点検・取りかえの検討を開始するための目安です。設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものではありません。

２.設計上の標準使用期間の算定の根拠について

本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、一般社団法人 日本ガス石油機器工業会発行の自主基準に基づき、以下の使用条件を想定して、当社において耐久試験等をおこなった結果、経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期を終期として設計上の標準使用期間を想定しています。

〈標準使用条件〉　年間燃焼時間：1,900時間　年間燃焼回数：700回

３.標準的な使用条件と異なる使用をされた場合の注意点について

- 製品の使用条件または使用頻度が、その根拠となった数値よりも高い場合
- 製品が目的以外の用途で使用された場合
- 標準的な使用環境と異なる環境で使用された場合
- その他経年劣化を特に進める条件で使用された場合

上記のような使用をされた場合は、設計上の標準使用期間よりも短期間で製品が経年劣化し、安全上支障が生ずるおそれがあります。

14 お客様ご相談窓口

お客様ご相談窓口

修理サービスや製品についてのご相談は型式名をご確認の上、お買いあげの販売店または下記の窓口にご依頼ください。
電話番号やアドレスは変更する場合がありますのでご了承ください。

コロナサービスセンター（全国共通番号　365日24時間受付）

TEL　フリーダイヤル　**0120-919-302**

携帯電話　ナビダイヤル　**0570-550-992**

ナビダイヤルの通話料はお客様負担となります。

修理･アフターサービスに関するお問い合わせ

https://www.corona.co.jp/support/service/

■365日24時間修理依頼ができます。
部品保有年限が経過している製品は受付しないこともあります。
右記QRコードからアクセスできます。

コロナ公式オンラインストア

お客様ご自身で簡単に交換いただける純正部品、別売部材を販売しております。製品内部の部品や交換の際に資格や技術が必要となる部品などは販売しておりません。
補修用性能部品の保有期間が過ぎている部品は、取り扱いを終了している場合があります。下記アドレスページ内の対応型式をよくご確認ください。

公式オンラインストア
CORONA STORE

https://ec.coronaweb.com/
（コロナ公式ホームページからもアクセスできます ）

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

926040R